

# プロジェクトを円滑に進めて成功させるポイント

## その3 タイムスケジュール

プロジェクトにはタイムリミットがあります。期間内で最大の結果を生み出すことが求められているのですが、どの部分にどれだけ時間を割いたらいいかというイメージを最初に持つことが重要です。

当たり前の話のようですが、時間配分の想像がつかないと、とんでもないタイムスケジュールになることがあり、苦勞するパターンも見てきました。

プロジェクトは色々な人が絡んで、キャッチボールをしながら進んでいくもの。特に外部に投げる部分(印刷、広報、デザイン、許認可等)は、想像以上に時間や手間がかかる場合が多いので、あらかじめ最初にタイムスケジュールを制作する時に、余裕をもっておいたほうが良いと思います。

そしてもう一つ。私が一番重要視しているのは、リサーチや土台作りの部分。何をどうやって作るのかとことん考えて、それを自分もしくはメンバー内で明確にして共有することです。自分がクリアできないものをどうして外部の人に伝えたり理解してもらえるのでしょうか？

意地悪なようですが、私は最初にクライアント様の構想を聞いたとき、「あなたのその構想、それで走り出して大丈夫ですか？」とちょっとガツンとお話します。甘いなと思うのに、それをスタートさせてしまうことのほうが無責任だと思っているからです。ですから、最初の土台作りには十分時間をとってほしいのです。

先般も都内飲食店様から店舗の内容のリニューアルのご相談をいただきました。最初のコンサルタントの後、クライアント様から「自分の思い込みや想いだけではだめなんだと痛感しました。先日の宿題をもう少し考えてみます」というメッセージを受け取りました。あと2回はコンセプトや方向性がためをして、それから具体的なメニュー作りです。